



のおすすめ本

書名 我外闘争  
著者 アドルフ・ヒトラー  
コメント

ヒトラーの考え方、演説の上手さの理由が  
よくわかりました 宮澤

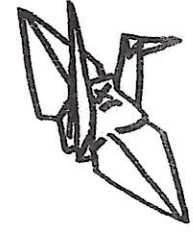
戦争についてヒトラーを通してよく  
学ぶことができます。 鈴木

のおすすめ本

書名 世界で最後の花  
著者 (訳)村上 春樹 (作) ジェームズ・  
サーバー

この本は第二次世界大戦が起きた世界で  
絵も文章もシンプルだが、そこにはめられ  
た大切なものがストレートに伝わり、くる。  
世界で読みがれる、「戦争」と「平和」に  
ついてあらためて、考える ことが出来る物語  
だ。ぜひ読んで下さい。

2024 12月2日  
編集者:図書委員3年



のおすすめ本

書名 永遠の0  
著者 百田尚樹

コメント  
現代を生きる司法浪人健太郎が自分と  
同じ歳で命を散らせたおじいさんの零  
戦乗りである一友生に執着し続け  
た臆病者と非難を浴びていた祖父の  
人生をたどる中で戦争に関わった人々の想  
いに触れていく物語です。

# 図書だより 特別号

## ～戦場からのメッセージも あなたへ特集～

のおすすめ本

書名 父をめぐる祖父の戦争  
著者 デイヴィッド・バニョフ  
コメント

戦争の愚かさを、若者の友情や  
冒険と共に描くエンターテインメント  
戦争小説です。作家である主人公  
が祖父へのインタビューを軸に語り  
形式のノンフィクション作品です!

のおすすめ本

書名 アヴェ・マリアのヴァイオリン  
著者 香川 宜子  
コメント

楽器店にあった不思議な音色のヴァイオリンは、  
アウシュヴィッツの収容所の音楽隊で使われていたもの  
だった。ユダヤ人であるハンナは、苦しい時でも仲間  
を思いやり、音楽の楽しさを忘れることはなかった。  
アウシュヴィッツ収容所を舞台としたアクションです。  
音楽が好きの方は少し怖いですがぜひ読んでみてください。



のおすすめ本

書名 アジアの戦争被害者証言 日本侵略  
著者 伊藤 孝司  
コメント

戦争は、どちらも悪い部分があって  
どちらが正しいとは言えないと  
思った。戦争や災害などの  
時こそ、人種関係なく手を  
取り合って協力すべきだと  
思った。

のおすすめ本

書名 あの花が咲く丘で君とまた出会えたら  
著者 汐見夏衛  
コメント

「生まれてはじめて私が愛した人は、特攻隊員  
だった。」中学二年生の加藤内百合は、  
ある日母親とケンカして家を飛び出し、  
目をさますと、70年前の戦時中の  
日本にいた。とても感銘を受ける  
本なので、ぜひ読んでください。